橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 35.65″	橋梁ID
				経度	140° 29′ 59.91″	42.97656,140.49997
相生橋 (フリガナ)ｱｲｵｲﾊﾞｼ	薄田通り	北海道岩内郡岩内町相生				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.29	野束川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	(株)シビテック　佐々木正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真001,主桁01			
	横桁	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真002,横桁02			
	床版	Ⅱ	床版ひびわれ	写真003,床版07			
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工02			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	ゆるみ・脱落	写真006,高欄・防護柵02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁・床版・下部工にひびわれや遊離石灰が確認されるが、進行性はないため予防保全段階とする。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1978 年	47.7 m	15.8 m
橋梁形式		
単純ポステンT桁橋×2連、逆T式橋台杭基礎2基、T型橋脚(RC)杭基礎1基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁01　）【判定区分：　Ⅱ　】

写真2　上部構造・横桁（　横桁02　）【判定区分：　Ⅱ　】

写真3　上部構造・床版（　床版07　）【判定区分：　Ⅱ　】

写真4　下部構造（　下部工02　）【判定区分：　Ⅱ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	写真6　その他(　高欄・防護柵02　)【判定区分:　Ⅱ　】
ー【判定区分:　　】	ー【判定区分:　　】

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 37.61″	橋梁ID
				経度	140° 30′ 46.65″	42.97711,140.51295
柳橋 (フリガナ)ﾔﾅｷﾞﾊｼ	薄田通り	北海道岩内郡岩内町高台				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.29	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	(株)シビテック　佐々木正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	健全であるが、伸縮装置の取替を実施することが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1963 年	11.4 m	6 m
橋梁形式		
その他(RC橋)、重力式橋台2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　伸縮装置01　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 33.55″	橋梁ID
				経度	140° 30′ 51.55″	42.97598,140.51431
神社参道橋 (フリガナ)ｼﾞﾝｼﾞｬｻﾝﾄﾞｳﾊﾞｼ	神社通り	北海道岩内郡岩内町高台				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.23	運上屋川	無	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	健全である。(2020年補修済み)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1963 年	8.3 m	6.5 m
橋梁形式		
その他(PC橋)、重力式橋台2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42°　58′　15.44″	橋梁ID
				経度	140°　31′　37.3″	42.97095,140.52702
老古美四号橋 (フリガナ)ｵｲｺﾐﾖﾝｺﾞｳﾊﾞｼ	硫黄山街道横通り	北海道岩内郡岩内町宮園				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.25	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁03			
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅱ	支承部の機能障害	写真005,支承部102			
その他		Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁に鉄筋露出が確認される。支承に荷重によるつぶれがみられる(材質劣化)。また、伸縮装置についても経年劣化による脱落が確認される。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1979 年	9.02 m	3 m
橋梁形式		
PC桁橋(その他)、重力式橋台直接基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁(　主桁03　)【判定区分:　Ⅱ　】	上部構造・床版(　　)【判定区分:　Ⅰ　】
下部構造(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	写真5　支承部(　支承部102　)【判定区分:　Ⅱ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　伸縮装置02　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 32.74″	橋梁ID
				経度	140° 31′ 4.65″	42.97576,140.51795
宮園橋 (フリガナ)ﾐﾔｿﾞﾉﾊﾞｼ	幌似街道第一横通り	北海道岩内郡岩内町宮園				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.23	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁20			
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	腐食	写真006,排水装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁に剥離がみられる(排水管周辺)。下部工にうき・剥離が確認される。脆弱な豆板箇所のコンクリートが凍害を受け剥離したものと想定する。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1961 年	7.5 m	10 m
橋梁形式		
プレテン床版橋、重力式橋台直接基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁20　）【判定区分：　Ⅱ　】	上部構造・床版（　　）【判定区分：　Ⅰ　】

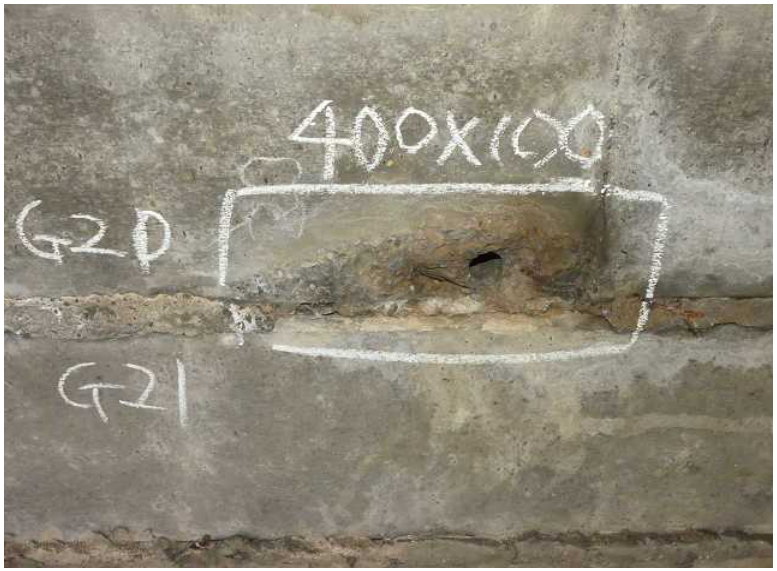



写真4　下部構造（　下部工01　）【判定区分：　Ⅱ　】	支承部（　　）【判定区分：　Ⅰ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　排水装置01　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42°　58′　40.35″	橋梁ID
				経度	140°　30′　16.8″	42.97787,140.50466
清住橋 (フリガナ)ｷﾖｽﾞﾐﾊｼ	公園通り	北海道岩内郡岩内町清住				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.22	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真001,主桁25			
	横桁						
	床版	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真003,床版24			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	ひびわれ	写真006,地覆01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁にひび割れ、床版に錆汁を含むつらら状の遊離石灰がみられる。地覆部において防護柵支柱角より発生するひびわれが剥離へと進行する可能性がある状態。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1981 年	14.6 m	18 m
橋梁形式		
プレテン中空床版橋、逆T式橋台杭基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁25　）【判定区分：　Ⅱ　】	写真3　上部構造・床版（　床版24　）【判定区分：　Ⅱ　】
下部構造（　　）【判定区分：　Ⅰ　】	支承部（　　）【判定区分：　Ⅰ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　地覆01　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 20.13″	橋梁ID
				経度	140° 30′ 17.95″	42.97225,140.50498
公園橋 (フリガナ)ｺｳｴﾝﾊﾞｼ	公園通り	北海道岩内郡岩内町相生				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.30	野束川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	(株)シビテック　佐々木正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真003,床版20			
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01		腐食	
支承部		Ⅲ	支承部の機能障害	写真005,支承部101			
その他		Ⅲ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	床版の遊離石灰(錆汁有り)、下部工のひびわれ、支承モルタルの欠損及び伸縮装置からの漏水が確認される。支承モルタル補修及び伸縮装置取替えを早期に実施することが望ましい。また、橋面防水及び下部工ひびわれ補修を実施することが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1993 年	38 m	18 m
橋梁形式		
単純プレテン中空床版橋×2連、逆T式橋台直接基礎1基、壁式橋脚(RC)杭基礎1基、逆T式橋台杭基礎1基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	写真3　上部構造・床版(　床版20　)【判定区分:　Ⅱ　】
写真4　下部構造(　下部工01　)【判定区分:　Ⅱ　】	写真5　支承部(　支承部101　)【判定区分:　Ⅲ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　伸縮装置01　）【判定区分：　Ⅲ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42°　58′　4.7″	橋梁ID
				経度	140°　29′　50.2″	42.96797,140.49727
筍山二号橋 (フリガナ)ﾀｹﾉｺﾔﾏﾆｺﾞｳﾊﾞｼ	公園通り	北海道岩内郡岩内町敷島内				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.26	ﾒﾄﾞﾁ川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真001,主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁及び下部工にひびわれが確認される。いずれも乾燥収縮によるひびわれと推定され進行性はなく、現状で耐荷性能の低下傾向は見受けられないが、経過観察が必要な状態。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1984 年	3.6 m	13 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、その他(橋台)2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁01　）【判定区分：　Ⅱ　】	下部構造（　　）【判定区分：　Ⅰ　】
その他（　　）【判定区分：　Ⅰ　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 40.61″	橋梁ID
				経度	140° 30′ 21.65″	42.97794,140.50601
創成橋 (フリガナ)ｿｳｾｲﾊﾞｼ	老古美橋町通り	北海道岩内郡岩内町清住				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.22	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真001,主桁04			
	横桁	Ⅱ	ひびわれ	写真002,横桁02			
	床版	Ⅱ	床版ひびわれ	写真003,床版04			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁に補強が施されている状態。目視できる主桁及び横桁下面部分にひびわれ等がみられる。床版ひびわれ(大半が一方向)が確認される。現状で耐荷性能の低下傾向は見受けられないが、経過観察が必要な状態。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1963 年	11.5 m	6 m
橋梁形式		
その他(RC橋)、重力式橋台2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁04　）【判定区分：　Ⅱ　】	写真2　上部構造・横桁（　横桁02　）【判定区分：　Ⅱ　】
写真3　上部構造・床版（　床版04　）【判定区分：　Ⅱ　】	下部構造（　　）【判定区分：　Ⅰ　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42°　58′　40.76″	橋梁ID
				経度	140°　30′　26.4″	42.97798,140.50733
新川橋 (フリガナ)ｼﾝｶﾜﾊﾞｼ	老古美波止場通り	北海道岩内郡岩内町清住				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.22	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	路面の凹凸	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	下部工にひび割れが確認される。舗装に埋戻土の圧縮が原因と想定されるd=50mm程度の段差がみられる。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2009 年	12.04 m	15 m
橋梁形式		
プレテン中空床版橋、逆T式橋台杭基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	上部構造・床版(　　)【判定区分:　Ⅰ　】
写真4　下部構造(　下部工01　)【判定区分:　Ⅱ　】	支承部(　　)【判定区分:　Ⅰ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　舗装01　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 40.83″	橋梁ID
				経度	140° 30′ 31.45″	42.97800,140.50873
稲穂橋 (フリガナ)イナホハシ	老古美稲穂崎通り	北海道岩内郡岩内町清住				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.22	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	下部工にうき・剥離が確認される。脆弱な豆板箇所のコンクリートが凍害を受け剥離したものと推定する。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1963 年	10.9 m	6 m
橋梁形式		
その他(RC橋)、重力式橋台2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	上部構造・横桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】
上部構造・床版(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	写真4　下部構造(　下部工01　)【判定区分:　Ⅱ　】

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 40.39″	橋梁ID
				経度	140° 30′ 41.35″	42.97788,140.51148
老松橋 (フリガナ)ｵｲﾏﾂﾊﾞｼ	幌似街道八幡通り	北海道岩内郡岩内町高台				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.23	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	健全である。(2020年補修済)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1961 年	11.4 m	6 m
橋梁形式		
プレテン床版橋、重力式橋台2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 35.45″	橋梁ID
				経度	140° 31′ 15.95″	42.97651,140.52109
ポン岩内橋 (フリガナ)ﾎﾟﾝｲﾜﾅｲﾊﾞｼ	八幡岩内川通り	北海道岩内郡岩内町栄				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.24	ポン岩内川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	腐食	写真006,排水装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	健全であるが、排水管補修及び舗装の補修を実施することが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1997 年	11.94 m	21.82 m
橋梁形式		
プレテン中空床版橋、逆T式橋台直接基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　排水装置01　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 34.17″	橋梁ID
				経度	140° 31′ 40.45″	42.97615,140.52790
ポンイワナイ二号橋 (フリガナ)ﾎﾟﾝｲﾜﾅｲﾆｺﾞｳﾊﾞｼ	岩内川墓地通り	北海道岩内郡岩内町東山				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.29	ポン岩内川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真004,下部工02			
支承部							
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	下部工に漏水・遊離石灰を伴うひびわれが確認される。遊離石灰には錆汁の混入が確認される。現状で耐荷性能の低下傾向は見受けられないが、経過観察が必要な状態。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1963 年	5.6 m	17.5 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、その他(橋台)直接基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	写真4　下部構造(　下部工02　)【判定区分:　Ⅱ　】
その他(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	ー【判定区分:　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 14.45″	橋梁ID
				経度	140° 31′ 41.8″	42.97068,140.52827
老古美一号橋 (フリガナ)ｵｲｺﾐｲﾁｺﾞｳﾊﾞｼ	西老古美通り	北海道岩内郡岩内町宮園				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.25	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真003,床版03			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	路面の凹凸	写真006,伸縮装置02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	床版に錆汁を含む遊離石灰が確認される。伸縮装置の後打ちコンクリートにD=50mmの凹みが確認される。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1993 年	11.9 m	10 m
橋梁形式		
プレテン中空床版橋、逆T式橋台直接基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	写真3　上部構造・床版(　床版03　)【判定区分:　Ⅱ　】
下部構造(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	支承部(　　)【判定区分:　Ⅰ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　伸縮装置02　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42°　58′　31.69″	橋梁ID
				経度	140°　31′　13.47″	42.97546,140.52040
東宮園橋 (フリガナ)ﾋｶﾞｼﾐﾔｿﾞﾉﾊﾞｼ	岩内宮園東通り	北海道岩内郡岩内町宮園				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.24	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真004,下部工02			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真006,地覆02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	下部工躯体に遊離石灰が確認される。躯体背面からの漏水に伴うものと推定され、継続的に監視を行うことが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1962 年	6.5 m	4 m
橋梁形式		
プレテン床版橋、重力式橋台2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	上部構造・床版(　　)【判定区分:　Ⅰ　】
写真4　下部構造(　下部工02　)【判定区分:　Ⅱ　】	支承部(　　)【判定区分:　Ⅰ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　地覆02　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42°　58′　31.9″	橋梁ID
				経度	140°　31′　9.35″	42.97552,140.51926
東宮園二号橋 (フリガナ)ﾋｶﾞｼﾐﾔｿﾞﾉﾆｺﾞｳﾊﾞｼ	東宮園西線	北海道岩内郡岩内町宮園				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.23	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	洗掘	写真004,下部工01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	亀裂	写真006,高欄・防護柵01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	橋台全面に埋戻土低下が確認される。河川流水による吸出しの可能性があるため、継続的に監視することが望ましい。防護柵支柱基部に亀裂が確認されるため、安全性の観点から、補修を行うことが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1986 年	12.56 m	7.25 m
橋梁形式		
プレテン中空床版橋、逆T式橋台杭基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	上部構造・床版(　　)【判定区分:　Ⅰ　】
写真4　下部構造(　下部工01　)【判定区分:　Ⅱ　】	支承部(　　)【判定区分:　Ⅰ　】

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　高欄・防護柵01　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 26.78″	橋梁ID
				経度	140° 31′ 26.35″	42.97410,140.52398
老古美三号橋 (フリガナ)ｵｲｺﾐｻﾝｺﾞｳﾊﾞｼ	東老古美中通り	北海道岩内郡岩内町宮園				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.24	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅳ	変形・欠損	写真001,主桁02			
	横桁						
	床版	Ⅳ	変形・欠損	写真003,床版01			
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅳ	路面の凹凸	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅳ	通行止め済みである。木製桁の腐朽の進行～落橋が懸念されることから緊急措置段階と判定する。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1950 年	6.4 m	3.1 m
橋梁形式		
その他(木橋)、逆T式橋台2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁02　）【判定区分：　Ⅳ　】	写真3　上部構造・床版（　床版01　）【判定区分：　Ⅳ　】
下部構造（　　）【判定区分：　Ⅰ　】	写真6　その他（　舗装01　）【判定区分：　Ⅳ　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 57′ 52.76″	橋梁ID
				経度	140° 31′ 24.88″	42.96465,140.52357
西老古美橋 (フリガナ)ﾆｼｵｲｺﾐﾊﾞｼ	権太川西老古美線	北海道岩内郡岩内町野東				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.09.01	野東川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	(株)シビテック　佐々木正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	上部工及び下部工は健全である。床版に乾燥収縮によるひびわれ(局部的)が確認されるが、現時点では耐荷性に影響は無く、経過観察が妥当である。(2021年補修済み)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1971 年	32 m	5 m
橋梁形式		
鋼溶接 I桁(合成)橋、逆T式橋台直接基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 57′ 47.02″	橋梁ID
				経度	140° 31′ 21.7″	42.96306,140.52269
西老古美二号橋 (フリガナ)ﾆｼｵｲｺﾐﾆｺﾞｳﾊﾞｼ	西老古美円山線	北海道岩内郡岩内町野東				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.25	西老古美川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	腐食	写真006,排水装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	上部工及び下部工は健全である。排水装置において腐食が進行し破断が確認される。路面上で確認される損傷程度は軽微であり、経過観察が妥当である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1992 年	10.3 m	7.5 m
橋梁形式		
プレテン中空床版橋、逆T式橋台直接基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　排水装置01　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 55′ 54.76″	橋梁ID
				経度	140° 24′ 40.18″	42.93187,140.41116
雷電うきよ橋 (フリガナ)ﾗｲﾃﾞﾝｳｷﾖﾊﾞｼ	親子別雷電鉱山線	北海道岩内郡岩内町敷島内				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.09.01	親子別川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　(株)シビテック　佐々木正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	下部工に剥離(局部的)が確認されるが、現時点では耐荷性に影響は無く経過観察が妥当である。(2021年補修済み)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1965 年	5.7 m	6 m
橋梁形式		
RC床版橋(その他)、逆T式橋台2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42°　57′　3.15″	橋梁ID
				経度	140°　28′　35.7″	42.95087,140.47658
鳴神橋 (フリガナ)ﾅﾙｶﾞﾐﾊｼ	当別川林道	北海道岩内郡岩内町敷島内				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.30	幌内川	無	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	(株)シビテック　佐々木正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食	写真001,主桁02			
	横桁	Ⅱ	腐食	写真002,横桁01			
	床版	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真003,床版01			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅱ	防食機能の劣化	写真005,支承部101			
その他		Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁(耐候性鋼材)の腐食に進行性が確認されるため、塗装塗替を実施することが望ましい。伸縮装置から漏水がみられるため、止水を目的とした取替えを実施することが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1981 年	20 m	4 m
橋梁形式		
鋼溶接 H形鋼(合成)橋、逆T式橋台直接基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁02　）【判定区分：　Ⅱ　】	写真2　上部構造・横桁（　横桁01　）【判定区分：　Ⅱ　】
写真3　上部構造・床版（　床版01　）【判定区分：　Ⅱ　】	下部構造（　　）【判定区分：　Ⅰ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真5　支承部(　支承部101　)【判定区分:　Ⅱ　】	写真6　その他(　伸縮装置01　)【判定区分:　Ⅱ　】
ー【判定区分:　　】	ー【判定区分:　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 57′ 14.12″	橋梁ID
				経度	140° 28′ 49.75″	42.95392,140.48048
ニチナイ橋 (フリガナ)ﾆﾁﾅｲﾊﾞｼ	当別川林道	北海道岩内郡岩内町敷島内				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.26	ニチナイ川	無	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	竪壁角部にW=0.95mmのひびわれが確認される。耐荷性能に影響を及ぼす状態ではないが、内部鋼材への影響が懸念される状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1980 年	12 m	3.6 m
橋梁形式		
プレテン床版橋、重力式橋台直接基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	上部構造・床版(　　)【判定区分:　Ⅰ　】
写真4　下部構造(　下部工01　)【判定区分:　Ⅱ　】	支承部(　　)【判定区分:　Ⅰ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　伸縮装置01　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 57′ 29.56″	橋梁ID
				経度	140° 31′ 41.2″	42.95821,140.52811
西老古美一号橋 (フリガナ)ﾆｼｵｲｺﾐｲﾁｺﾞｳﾊﾞｼ	西老古美一号線	北海道岩内郡岩内町野東				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.25	西老古美川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工02			
支承部							
その他		Ⅱ	路面の凹凸	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁及び橋台に鉄筋露出がみられる。地覆に比較的規模の大きい剥離がみられる。現時点で道路橋としての機能上の問題は無い程度の損傷で緊急性が無く、予防保全段階と判定する。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1967 年	3.6 m	3 m
橋梁形式		
RC床版橋(その他)、その他(橋台)2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁01　）【判定区分：　Ⅱ　】	写真4　下部構造（　下部工02　）【判定区分：　Ⅱ　】
写真6　その他（　舗装01　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42°　58′　28.57″	橋梁ID
				経度	140°　31′　20.75″	42.97460,140.52243
十間橋 (フリガナ)ｼﾞｭｯｹﾝﾊｼ	宮園通り	北海道岩内郡岩内町宮園				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.24	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	土砂詰まり	写真004,下部工02			
支承部		Ⅱ	土砂詰まり	写真005,支承部208			
その他		Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	橋台にひびわれ、地覆に欠損が見られる。また伸縮装置に脱落が確認され、それに起因する沓座面への土砂堆積が生じている。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1979 年	10.54 m	7 m
橋梁形式		
PC桁橋(その他)、逆T式橋台直接基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	上部構造・床版(　　)【判定区分:　Ⅰ　】
写真4　下部構造(　下部工02　)【判定区分:　Ⅱ　】	写真5　支承部(　支承部208　)【判定区分:　Ⅱ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　伸縮装置02　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42°　57′　50.46″	橋梁ID
				経度	140°　30′　45.35″	42.96401,140.51259
さとみ橋 （フリガナ）ｻﾄﾐﾊﾞｼ	八千代の沢円山線	北海道岩内郡岩内町野東				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件（名称）
北海道岩内町	2022.08.30	権太川	有	一般道		

部材単位の診断（各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入）

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等が分かるように記載）	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工02			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置02			

道路橋毎の健全性の診断（判定区分Ⅰ～Ⅳ）

定期点検時に記録

（判定区分）	（所見等）
Ⅱ	床版に遊離石灰、下部工に剥離がみられる。また、伸縮装置に漏水、防護柵に腐食が確認される。

全景写真（起点側、終点側を記載すること）

架設年次	橋長	幅員
1977 年	6.3 m	7.25 m
橋梁形式		
プレテン床版橋、重力式橋台2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	上部構造・床版(　　)【判定区分:　Ⅰ　】
写真4　下部構造(　下部工02　)【判定区分:　Ⅱ　】	支承部(　　)【判定区分:　Ⅰ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　伸縮装置02　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 57′ 55.53″	橋梁ID
				経度	140° 30′ 22.8″	42.96542,140.50633
B．C (フリガナ)ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ	八千代の沢円山線	北海道岩内郡岩内町野東				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.30	ﾒﾄﾁ川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工01			
支承部							
その他		Ⅱ	防食機能の劣化	添架物02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁及び下部工に剥離・鉄筋露出がみられる。また、添架物ブラケットにおいて広範囲に腐食が確認される。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1978 年	3.6 m	18.7 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、その他(橋台)2基		

起点

終点

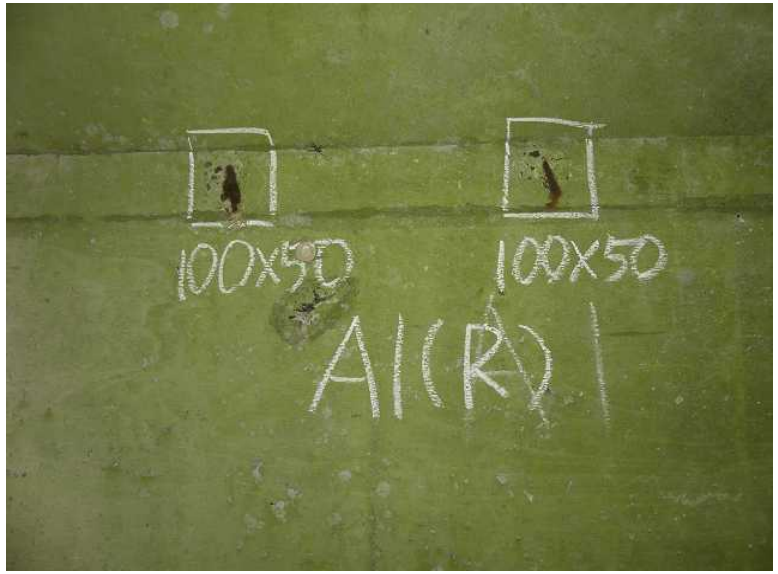
※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁01　）【判定区分：　Ⅱ　】	写真4　下部構造（　下部工01　）【判定区分：　Ⅱ　】
	
写真6　その他（　添架物02　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 57′ 50.11″	橋梁ID
				経度	140° 29′ 40.06″	42.96392,140.49446
B．C (フリガナ)ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ	八千代の沢円山線	北海道岩内郡岩内町敷島内				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.26	ﾒﾄﾁ川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工02			
支承部							
その他		Ⅲ	破断	写真006,高欄・防護柵02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	上下部工に鉄筋露出がみられる。また、路面(路肩)に沈下が確認され、ガードケーブルに破断があり第三者への影響が懸念される状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1978 年	2 m	14 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、その他(橋台)2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁01　）【判定区分：　Ⅱ　】	写真4　下部構造（　下部工02　）【判定区分：　Ⅱ　】
写真6　その他（　高欄・防護柵02　）【判定区分：　Ⅲ　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42°　57′　46.72″	橋梁ID
				経度	140°　29′　26.3″	42.96297,140.49063
筍山橋 (フリガナ)ﾀｹﾉｺﾔﾏﾊﾞｼ	八千代の沢円山線	北海道岩内郡岩内町敷島内				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.26	ﾒﾄﾁ川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真001,主桁03			
	横桁						
	床版	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真003,床版02			
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工02			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁にひびわれ、床版に遊離石灰及び下部工にひびわれが確認される。また、伸縮装置に漏水が確認される。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1978 年	5 m	9 m
橋梁形式		
プレテン床版橋、重力式橋台2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁03　）【判定区分：　Ⅱ　】	写真3　上部構造・床版（　床版02　）【判定区分：　Ⅱ　】

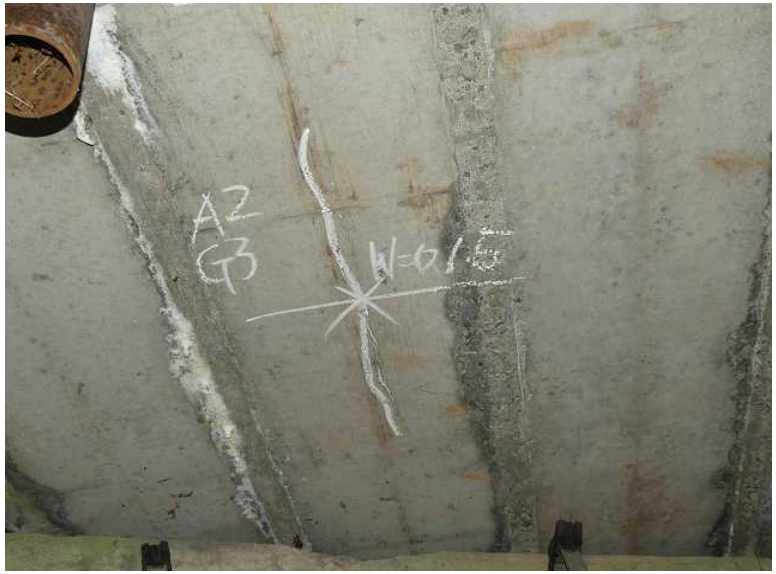



写真4　下部構造（　下部工02　）【判定区分：　Ⅱ　】	支承部（　　）【判定区分：　Ⅰ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　伸縮装置01　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58′ 10.75″	橋梁ID
				経度	140° 29′ 45.3″	42.96965,140.49591
筍山三号橋 (フリガナ)ﾀｹﾉｺﾔﾏｻﾝｺﾞｳﾊﾞｼ	公園通り	北海道岩内郡岩内町敷島内				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.09.01	ﾒﾄﾂ3番川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真001,主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	上部工及び下部工にひびわれが確認される。いずれも乾燥収縮によるひびわれと推定され進行性はなく、現状で耐荷性能の低下傾向は見受けられないが、経過観察が必要な状態。防護柵に局部的な腐食・防食機能の劣化が確認される。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1984 年	3.1 m	9.75 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、その他(橋台)2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁01　）【判定区分：　Ⅱ　】	下部構造（　　）【判定区分：　Ⅰ　】
その他（　　）【判定区分：　Ⅰ　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 57′ 44.96″	橋梁ID
				経度	140° 31′ 42.71″	42.96248,140.52853
馬追橋 (フリガナ)ウマオイバシ	西老古美円山線	北海道岩内郡岩内町野東				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.29	野東川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　(株)シビテック　佐々木正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅱ	床版ひびわれ	写真003,床版02			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	亀裂	写真006,高欄・防護柵01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	床版及び下部工にひびわれが確認される。いずれも乾燥収縮によるひびわれと推定され進行性はなく、現状で耐荷性能の低下傾向は見受けられないが経過観察が必要な状態。防護柵支柱基部に亀裂、舗装に凹みが確認される。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1991 年	41 m	7.5 m
橋梁形式		
鋼溶接 I桁(合成)橋、逆T式橋台直接基礎2基		

起点

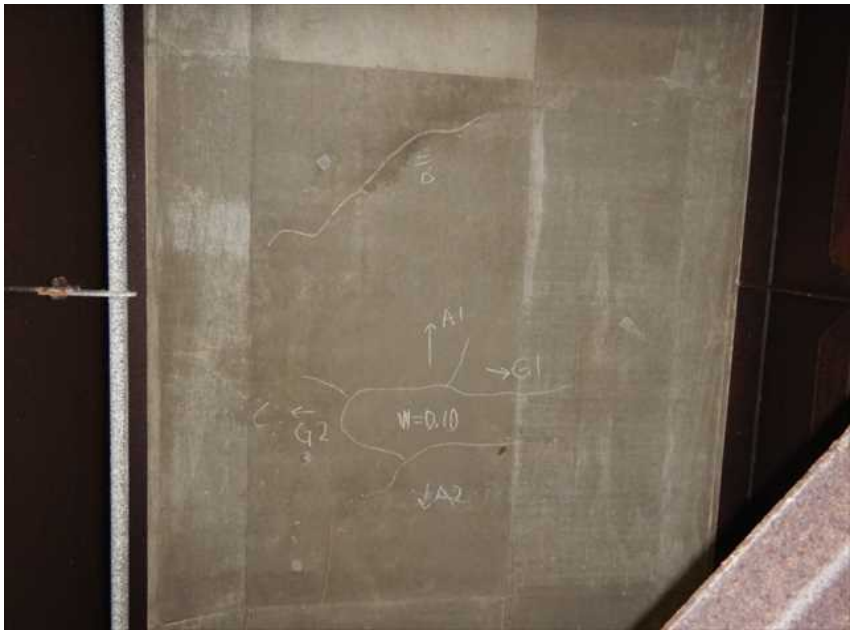
終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	上部構造・横桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】
写真3　上部構造・床版(　床版02　)【判定区分:　Ⅱ　】	下部構造(　　)【判定区分:　Ⅰ　】
	

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	写真6　その他(　高欄・防護柵01　)【判定区分:　Ⅱ　】
ー【判定区分:　　】	ー【判定区分:　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 57′ 12.18″	橋梁ID
				経度	140° 30′ 23.38″	42.95338,140.50649
いこい橋 (フリガナ)ｲｺｲﾊｼ	権太川温泉通り	北海道岩内郡岩内町野束				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.09.01	権太川	無	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　(株)シビテック　佐々木正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	腐食	写真006,排水装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁に剥離がみられる。下部工にひび割れ、地覆に鉄筋露出が確認される。また、伸縮装置に土砂詰まり、変形が確認され、排水装置に腐食・破断がみられる。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1989 年	17.9 m	6.5 m
橋梁形式		
プレテン中空床版橋、逆T式橋台直接基礎2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	上部構造・床版(　　)【判定区分:　Ⅰ　】
写真4　下部構造(　下部工01　)【判定区分:　Ⅱ　】	支承部(　　)【判定区分:　Ⅰ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6　その他（　排水装置01　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】
ー【判定区分：　　】	ー【判定区分：　　】

別紙2　様式1様式2　　様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42°　59′　9.15″	橋梁ID
				経度	140°　31′　5.5″	42.98587,140.51819
御鉾内川橋 (フリガナ)ｵﾓﾅｲｶﾜﾊﾞｼ	臨港道路	北海道岩内郡岩内町大浜				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.30	御鉾内川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅱ	床版ひびわれ	写真003,床版08			
下部構造		Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	床版にひびわれ、遊離石灰の析出がみられるが、進行性はない。下部工の断面修復材に局部的にひびわれ及び剥離が確認されるが、現状で耐荷性に影響はないと推察する。伸縮装置からの漏水が確認される。(2013年補修済み)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1956 年	6.1 m	14.4 m
橋梁形式		
その他(RC橋)、重力式橋台2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	上部構造・横桁(　　)【判定区分:　Ⅰ　】
写真3　上部構造・床版(　床版08　)【判定区分:　Ⅱ　】	写真4　下部構造(　下部工01　)【判定区分:　Ⅱ　】

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部(　　)【判定区分:　Ⅰ　】	写真6　その他(　伸縮装置01　)【判定区分:　Ⅱ　】
ー【判定区分:　　】	ー【判定区分:　　】

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42°　59′　3.88″	橋梁ID
				経度	140°　31′　28.1″	42.98441,140.52447
BOX道路橋 (フリガナ)ﾎﾞｯｸｽﾄﾞｳﾛｷｮｳ	浜中大通り	北海道岩内郡岩内町大浜				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2022.08.29	92号線	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	㈱シビテック　佐々木 正和

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真001,主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部							
その他		Ⅱ	路面の凹凸	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	上下部工ともに補修が実施されているが、一部に再劣化等が確認される状態である。(2013年補修済み)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1982 年	7.15 m	13.15 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、その他(橋台)2基		

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1　上部構造・主桁（　主桁01　）【判定区分：　Ⅱ　】	写真4　下部構造（　下部工01　）【判定区分：　Ⅱ　】
写真6　その他（　舗装01　）【判定区分：　Ⅱ　】	ー【判定区分：　　】